



### ● 光線過敏症とは

日光に対して皮膚が過敏に反応し炎症が起こる症状で、健康な人では起きない程度の日光でも症状があらわれます。日光にさらされた部位に、赤みや炎症、かゆみ・軽い痛み・刺激感を伴う皮疹などの症状があらわれるのが特徴です。

光線過敏症の原因のひとつに**薬剤性光線過敏症**があります。

- **薬剤性光線過敏症**
  - **光接触皮膚炎**  
塗り薬や貼り薬を用いた部分に日があたってかぶれる
  - **光線過敏型薬疹**  
内服薬を服用後に日に当たった部分に発疹ができる

### 光線過敏症を起こす薬物

分類	商品名
抗生物質	スバラ、ミノマイシン
降圧薬	ノルバスク、アムロジピン
利尿薬	フロセミド、ダイクロライド
抗精神病薬	ウインタミン、セレネース
消炎鎮痛薬	モーラステープ、パテルテープ、ボルタレン
抗ヒスタミン薬	ゼスラン、ホララミン
抗うつ薬	トフラニール、バキシル
抗てんかん薬	テグレート
血糖降下薬	オイグルコン、アマリール
抗リウマチ薬	リウマトレックス
抗癌薬	5-FU、UFT

### ● 光線過敏症の予防

#### ◆ 曇りの日、ガラス越しの紫外線に注意

曇りの日であっても、晴れた日の60～80%の紫外線が透過すると言われていています。また、紫外線はガラスを透過しますので、車の運転などガラス越しの紫外線にも注意が必要です。

#### ◆ 衣服による紫外線の防御

濃い色、暗い色ほど紫外線をカットします。また、つばの広い帽子や日傘などを用いて、出来るだけ日光が当たらないようにしましょう。

#### ◆ 日焼け止めによる紫外線の防御

市販されている日焼け止めを見ると、「SPF25」「SPF50」「PA+」「PA++」という表示があります。

SPF…波長の短い紫外線(UVB) 防御に有効。数値が高いほど効果大

PA …波長の長い紫外線(UVA) 防御に有効。+が多いほど効果大

光線過敏症の主な原因はUVAと考えられているので、UVA 防御効果の高い『PA+++』がお勧めです。

ただ、紫外線吸収剤を含むものはかえって光線過敏症の原因となることがあるので、『**紫外線吸収剤不使用**』『**ノンケミカル**』などと表示されたものを選びましょう。敏感肌用、子供用のものにも紫外線吸収剤が含まれないものが増えてきています。また、汗をかいたりタオルで拭いたりすると、日焼け止めが落ちてしまうことがあるので2～3時間ごとに塗りなおすことが重要です。

#### ◆ 薬を他の人へ譲り渡さない

モーラステープ、パテルテープを家族や友人から譲り受けて使用し光線過敏症を発症した例が、特に10代で多く報告されています。薬を譲り渡されて使用した場合、正しい使用方法が伝わらないので、家族や友人に譲ったりしないようにしてください。

どこの病院・診療所の処方せんにも対応できます。

(お薬によっては時間がかかることがあります) あすなろ武川薬局

TEL 0551-26-3800

FAX 0551-26-3810

